

關同盟通信社第二十九回理事會議事錄

昭和十九年六月廿六日午前十一時開會、同正午閉會

會場 東京都麴町區內幸町一丁目一番地 帝國ホテル

理事總員 參拾六名

出席理事 參拾壹名

堀	下	野	高	萩	一	高	阿	伊	伊	伊
堀	村	中	田	野	力	石	部	豆	藤	藤
義	宏	楠	元	元	次	眞	暢	富	正	正
貴	宏	吉	三	太	郎	五	太郎	人	德	德
上	古	古	郎	郎	伊	郎	伊	小	利	得
田	野	村	中	河	伊	阿	藤	汀	利	得
碩	伊	精	滿	村	豆	部	伊	中	清	文
三	之	一郎	義	徹	富	暢	藤	田	芳	朗
	助	小	親	田	人	太郎	伊	補	朗	
		坂	親	中	小	伊	藤	田		
		武	親	清	汀	藤	正	芳		
		雄	親	文	利	正	德	朗		
		行	親	文	得	德				
			親	文	得	德				

法人國 同盟通信社

委任狀

高	矢	木	松	山	小	末	鷹	山	本	實	一	矢
宮	野	下	本	本	柳	光	嘴	本	實	一	矢	部
太			重	調	平	正	壽	實	一	矢	部	謙
平	眞	猛	治	平	人	杉	山	一	矢	部	謙	次
平	眞	末		平	人	山	榮	一	矢	部	謙	郎
山	眞	光		平	人	山	榮	一	矢	部	謙	郎
山	眞	正		平	人	山	榮	一	矢	部	謙	郎
山	眞	人		平	人	山	榮	一	矢	部	謙	郎
山	眞	杉		平	人	山	榮	一	矢	部	謙	郎
山	眞	山		平	人	山	榮	一	矢	部	謙	郎
山	眞	榮		平	人	山	榮	一	矢	部	謙	郎

常任監事 築田 欽次郎

議長 理事會長 高石 眞五郎

高石議長開會ヲ宣シ議事ニ入ル

一、理事異動ノ件

高石議長ヨリ左記ノ通り理事異動ヲ報告セリ

理事宮崎光男氏（讀賣新聞社）ハ昭和十九年四月三十日辭任シ同

日後任理事トシテ中滿義親氏（讀賣新聞社）就任

理事東口眞平氏（朝日新聞大阪本社）ハ昭和十九年六月二十二日

辭任シ同日後任理事トシテ北野吉内氏（朝日新聞大阪本社）就任

理事北野吉内氏（朝日新聞東京本社）ハ昭和十九年六月二十二日

辭任シ同日後任理事トシテ原田讓二氏（朝日新聞東京本社）就任

理事原田棟一郎氏（神戸新聞社）ハ昭和十九年五月十四日死亡

二、昭和十八年度收支決算ノ件

古野社長ヨリ昭和十八年四月一日ヨリ昭和十九年三月三十一日ニ至ル昭和十八年度收支計算及昭和十九年三月末日現在ニ於ケル貸借對照表並ニ財産目錄ニツキ其ノ大要ヲ説明シ採決ノ結果滿場一致可決承認シタリ

三、諸般ノ報告

(1) 社員新聞社異動ノ件

第二十八回理事會後新潟日報社長岡支社、同高田支社、帝都日日新聞社ガ昭和十九年三月三十一日退社シ又同日附台灣日日新報社、台灣日報社、興南新聞社、台灣新聞社、高雄新報社、東台灣新聞社ノ六社ハ統合シテ台灣新報本社、同中部支社、同南部支社、同東部支社ノ四社トナリ現在社員數ハ八十二社三協會ナリ

(2) 支局新設及廢止ノ件

通信網擴充整備ノタメ前理事會後左記ノ通り新設又ハ廢止セリ

新設

ブノンペン支局（佛印） アビ支局（北ボルネオ）  
シボルガ支局（スマトラ） 海州支局（華北）

廢止

川崎支局

(3) 編輯局關係

(イ) 豊富ナル資料提供ノ件

本年三月十日夕刊廢止ノタメ建頁減少シ紙面制約サルルニ至リタルモ激烈ナル戰況其ノ他内外ニュースノ送稿量ヲ縮減スルコトナク重點的編輯ヲナシ番外原稿ハ活版印刷トシ極力豊富ナル資料提供ニ努力セリ

(ロ) 交換社員派遣ノ件

最近人手不足克服ノタメ政經、社會、地方各部取材部面ニ於テ出先活動態勢ヲ可及的ニ綜合シ少數ノ陣容ヲ以テ取材ノ完

社団法人 同盟通信社

璧ヲ期シツツアルガ報道使命達成ノタメ各新聞社ト緊密ニ聯絡シ交換社員ヲ本社ニ派遣シ共ニ一体トナリ思想戰完遂ニ協力セラレタシ

(ハ) 特信改善ノ件

特信ハニュース材料ヲ取入レ鐵道便ノ外ニ有線電話、同報電信ヲ併用シテ送稿シ紙上掲載ノミナラズ編輯者ノ資料提供ニ努メツツアルモ今後新構想、工夫ニヨリ一層ノ改善ヲ期ス

(ニ) 歐洲侵攻作戰ニヨル外信ノ現況

外信ハ大東亞戰勃發以來飛躍的ニ増加シ殊ニ英米軍北佛侵攻作戰ガ六月六日早曉開始サレルヤ獨逸DNBハ同日午前六時（伯林時間）僅カ二語ノ至急報ヲヘルシユライバー文字電送機ヲ通ジ本社ニ送信シ伯林、東京間時間ヲ要スルモ同盟ノ設備ハ極メ受信セリ、普通電報ハ相當時間ヲ要スルモ同盟ノ設備ハ極メテ短時間ニシテ歐洲日本間ヲ連絡シツツアリ、又從來非常ニ

困難ナリシ重慶關係情報モ最近正確ニ入手シ得ルニ至リ關係方面ニ寄與シツツアリ

外電ノ受信量ハ最近一日十萬餘語ニ達シコレヲ壓縮整理シ約六萬語トナシ新聞社ニハ三分ノ二約四萬語ヲ配付シ三分ノ一約二萬語ハ政府及軍當局等へ提供ノタメ本年一月本社ニ戰時調査室ヲ設置シ着々效果ヲ發揮シアリ

#### (4) 文字電送機ノ實用化

我が社多年ノ苦心研究ニ成ル文字電送機ハ本年三月内閣總理大臣官邸、情報局及東京遞信局ノ三ヶ所ニ据付ケ試験中ニテ漸次新聞社へノ送稿ニ實用化スル方針ナリ

#### (5) 戰況報道隊ノ編成

最近ビルマ及支那ニ於テ陸軍關係ノ報道班員組織ヲ確立サレソノ送信ハ同盟ニ委任サレ報道ノ統制、資材勞力ノ節約ニ貢獻シアリ

### 社人團 同盟通信社

#### (6) 多摩川農場ノ經營

本年四月以降全職員ヲ交替ニテ毎日多摩川農場ニ派遣シ開墾耕作ニ從事セシメツツアリ

#### 四 第十一回社員總會附議事項

次イテ古野社長ハ第十一回社員總會ニ附議スベキ左記事項ニ付キ説明シ採決ノ結果可決承認シタリ

第一、理事補缺選舉ノ件

第二、監事補缺選舉ノ件

第三、定款變更ノ件

第四、昭和十八年度事業及決算報告ノ件

第五、昭和十九年度豫算報告ノ件

第六、諸般ノ報告

#### 五 顧問推薦ノ件

最後ニ高石議長ヨリ當社ニ顧問ヲ置ク件ハ昭和十九年三月廿四日

開催ノ第二十八回理事會ニ於テ承認ヲ得且其ノ人選ハ古野社長及  
會長ニ一任サレタルヲ以テ

光 永 星 郎氏 小 森 七 郎氏 田 中 都 吉氏  
正 方 松 太 郎 氏 緒 方 竹 虎 氏  
以上五氏ヲ推薦スル旨報告一同之ヲ諒承シタリ

以 上

議 長	高 石 眞 五 郎
理 事	高 田 元 三 郎
理 事	下 村 宏

法人團 **同盟通信社**